

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		大阪発達総合療育センター あさしお園			公表日	令和7年4月1日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
環境 ・ 運 営 ・ 体 制	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	8	1	・ニーズに合わせて必要な道具等を用意しています。 ・具体的に伝える為に教材もしくは写真に撮って持ち込みます。 ・決まった教具はありません。	・必要な教具教材が持参できるよう、事前に支援内容の共有をしっかりとっていくよう努めます。
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	1	・児童発達支援と兼務の為、スケジュール調整が難しい。 ・訪問できる日が限られています。	訪問に関わる職員を増やせるよう、職員教育等検討していきます。
業 務 改 善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8	1	・一人で解決できない時には他の職員に相談して一緒に考えています。	各部署や全体会議などで目標設定と振り返りを行っていきます。
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		保護者評価を職員全体で確認し、保護者の意向に対して改善が可能なところから進めています。	
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		業務改善のためのプロジェクトや委員会を立ち上げ改善にむけて活動しています。	課題の抽出において、職員から意見が出されるよう各部署ごとの話し合いを持っていくようにします。
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	2	第三者評価を受けます。その結果を業務の改善に結び付けていきます。	
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9		法人内、施設内、外部の研修など受講する機会があります。	参加していない職員にも共有できるよう工夫していきます。
適 切 な 支 援 の 提 供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	9		・保護者の話をよく聞いて対話を大切にしています。 ・学校での様子を確認し、反映しています。	子どもの成長発達に応じた計画の見直しを適宜行っていくよう、連携先と計画を相談していく。
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9		・多職種間で情報を共有しています。 ・情報共有を心掛け楽しいことや現状を伝達し作成時の手がかりにもらっています。	
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	8	1	・保護者の意向が中心となることが多いが、保護者を通じて学校の様子を反映させています。	
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9		・作成された計画書を回覧して共有しています。	
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	3	・発達段階を動作、言語などのバラつきを確認しています。 ・個々や訪問希望内容に合わせて変わることもあります。 ・標準化された評価バッテリーを活用していたら更に良いと考えています。 ・フォーマルなアセスメントは使っていません。	標準化された評価については、子どもの特性に応じて選択できるよう、考えていきたい。
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	9		原則的なことはガイドラインを参考にしつつ、個性に対応できるように行っています。	
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9		保護者と支援者で計画を確認しながら行っています。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	1	・基本的には依頼内容によって主に担当する職種が決まり、それ以外については情報収集した上で支援を行うようにしています。	訪問日までに担当間で依頼内容と支援内容の共有が出来ることを目指す。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	1	・訪問時に気になったことや対応すべき課題については、担当者間で相談するようにしています。	報告書の回覧をする。
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	9		こちらの対応はご紹介し、訪問先の先生と子どもの様子に合わせた手法の選択を相談しています。	

	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	9		・記録を取り、保護者に報告し、施設内でも回覧し支援内容の改善につながっています。	
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9		・学校等での様子について保護者に聞き取りし見直しを行っています。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9		・訪問を担当している職員が参加しています。	
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	1	・こどもに応じて対応しています。 ・必要に応じて相談支援員を通じて連絡しています。 ・適宜、連携を図る為の研修等検討中です。	
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	1	・移行先施設が受け入れてくださる場合は情報共有することを行っています。	移行先と連携が取れるよう、会話を積み重ねていきます。
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	9		内部・外部の研修に参加しています。	職員から新たな研修テーマや研修先の提案をしてもらいながら内容も更新していきたいと思えます。
	24	(自立支援)協議会子こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	6	3	・参加し、積極的に関わっています。ただし、そのことが全職員の理解には至っていないようです。	園内での周知に力を入れます。
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	9		・積極的に行っています。就労している保護者と連絡がとりにくいいため、職員の負担が大きくなります。	保護者の都合もお聞きするが、折り返しの電話やメールへの返信をお願いしていく。
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	1	・チラシ等の張り出しで情報提供している。	研修内容の希望を家族からお聞きするようにしていく
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9		利用開始前に対面で個別に行っています。海外の方への対応が課題です。	保護者が希望される言語で作られた書類を準備していく
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	9		訪問開始前に、電話で趣旨を説明しています。理解を得られたうえで、訪問しています。	
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9		保護者とこどもの希望をお聞きした上で計画を作成し、説明しています。訪問後も振り返りの中で意向をお聴きしています。	
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	9		・就労している保護者との連絡調整が課題ですが同意を得られています。	・電話・メールを活用します。
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	9		必要に応じて面談だけでなく、電話等でも相談を受け付けて支援方法などの提案をしています。	相談支援専門員と連携し、福祉サービスの紹介などの支援を行っています。
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7	2	現在父母会は組織されていません。概ね月に1回開催される行事には保護者のみではなく、きょうだいも含めて参加し交流の場としています。	保護者勉強会や家族を含めた行事などの機会に交流が図られるように考えていきます。
	33	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9		適宜、相談や申し入れがあった場合は迅速かつ適切に対応するように努めています。	
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8	1	定期的に法人の広報誌が発行され、おたよりを年4回発行しています。また、日々の支援の様子はインスタグラムで発信しています。	引き続き、インスタグラムを活用したタイムリーな発信に努めます。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9		写真の使用などは保護者の許可を得ています。個人情報は鍵のかかる場所に保管しています。	引き続き、個人情報の取り扱いには留意していきます。
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9		状態に応じて視覚的支援等を用いて情報伝達を行い意思疎通できるよう努めています。	それぞれの子どもが適した意思疎通のための手段を選択できるよう、考えていきます。
訪問先施設	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	9		訪問支援員だけでなく、施設内の他職種も含め適切に相談に応じられるように行っています。	連携先を広げて、適切な判断ができるようにしていきます。
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	4	5	・カンファレンスの機会はつくりにくいですが訪問後の話を保護者から聞き取っている。 ・サービス担当者会議等、必要に応じてカンファレンスに参加している。 ・時間が合えばZOOM参加している。	訪問先に提案し、少しずつでも検討できるようにしていきたい。

設 へ の 説 明 等	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	9		必ず保護者との共有を行っています。就労している保護者との連絡が課題です。	・電話・メールを活用します。
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9		写真の使用などは保護者の許可を得ています。個人情報は鍵のかかる場所に保管しています。	引き続き、個人情報の取り扱いには留意していきます。
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	9		利用児の相談、施設環境の相談、他児に関わることなど相談に応じています。	個人情報への配慮を適切に行いつつ、信頼関係を築くことを考えていきます。
非 常 時 等 の 対 応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	2	各マニュアルを策定しています。年に2回避難訓練を実施しています。1月に1回、職員による防災訓練を行っています。	防災の研修会を開催しています。保護者向けの研修も行っていきます。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	1	安全計画を作成し、安全管理に努めています。	安全計画を職員で確認し、その内容を更新していくように努めます。
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9		職員全体で共有するようにしております。	引き続き、共有及び検討をしていきます。
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9		法人内にて毎年研修を開催しております。	引き続き、研修参加をしていきます。
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	9		・ベルト等使う場合、学校側の身体拘束のガイドラインに合わせています。	引き続き、支援計画に記載をして、適正委員会を定期的に開催しやむを得ない拘束については状況理由などを適切に記録します。